

一期一笑



第1号

令和2年5月20日

48期生115名進級おめでとう

48期生のみなさん。改めて進級おめでとう。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために休校が続き、学校の再開を楽しみにしていたのに非常に残念でした。しかし今日から気持ちを新たに大和川中学校の2年生として自覚をもち学校生活を送りましょう。

今日から新しい学年、新しいクラスのメンバー、新しい先生、そして、何より君たち自身が新しい気持ちで今日を迎えたと思います。さて、この1年はどんな1年にしていこう。去年1年間で君たちはどれだけのことを頑張り、どれだけのことを達成してきましたか？満足のいく1年を過ごしてきた人も、もう少し頑張ることができた人も新しい『節目』を迎えます。『節目』の時、人は自分を変えようとする。昨日までと違う新しい自分になろうとする。この決意と努力が人を成長させます。変わることは『大変』ですが、今の気持ちを忘れずに1年を過ごすようにしましょう。

連絡 次回登校日 5月22日(金) 8:25までに登校(体操服登校)

※ぞうきん2枚と洗濯ばさみ1つを用意してください

人間万事塞翁が馬【じんかんばんじさいおうがうま】

古い書物に書かれていた話です

むかし、占いが上手な老人が住んでいました。
あるとき、その老人の馬が逃げてしまいました。
馬は高く売れるので逃げ出したことを知った近所の人々は気の毒がっていました。
ところが老人は「このことが幸運を呼び込むかもしれない」と言いました。
それからしばらく経ったある日、逃げ出した馬が他の馬を連れて戻ってきたのです。
近所の人々は喜びましたが、老人は「このことがわざわざいになるかもしれない」と言うのです。
しばらくすると、老人の息子がその馬から落ちて足の骨を折ってしまいました。
近所の人々がお見舞いに行くと老人は「このことが幸福になるかもしれないよ」と言いました。
やがて中国で戦争が起き、若者はみんな戦いに行き、戦争が終わるころには多くの命を落としました。
しかし、老人の息子は足を骨折していたので戦争に行かずにすみしました。

この書物から学べることは
人生は何が起こるかわからない。 目の前の出来事に一喜一憂するのでなく ドンと構えて生きていこう
コロナの先には何があるだろうか…